

平成23年1月28日
農 林 水 産 省

農林水産省「食と農林漁業の再生推進本部」における 市町村長との意見交換会での指摘事項の概要

1. 日 時：平成23年1月18日（火）16:30～18:00
平成23年1月19日（水）10:00～11:30
2. 出席者：（1月18日）北海道別海町長、福島県飯舘村長、群馬県昭和村長、
愛知県田原市長、岡山県吉備中央町長
（1月19日）石川県珠洲市長、兵庫県南あわじ市長、福岡県筑後
市長、沖縄県南城市長

1. 持続可能な経営実現のための農業改革のあり方

（１）農業を担う人材の育成・確保について

- ・後継者確保のため、継続性のある人材育成や底支えする制度等環境整備を進める必要。（昭和村長、珠洲市長、南あわじ市長）
- ・多種多様な経営形態が互いに弱点を補完し合い、食料供給を託すべき産業として、地域農業を発展させないといけない。（別海町長）
- ・非農家の子弟でも農業に興味を持っている人は多く、農外からの新規参入措置への支援は重要。（筑後市長）
- ・経営展開の仕方に応じた支援方法が準備されることが望ましい。（飯舘村長、田原市長、南あわじ市長）
- ・篤農家の生産技術・ノウハウが若い人にきちんと継承される環境が必要。（田原市長）
- ・集団化によるメリットを訴えることや機械導入等に対する支援により、法人化等経営の効率化が進むのではないか。（筑後市長）

（２）生産性向上について

- ・生産性向上には、産地特性に応じた基盤整備と老朽化施設の維持改修が必要。インフラ整備は担い手育成と相まって地域農業の発展につながる。（田原市長）
- ・担い手に農地を集約しやすい環境づくりに取り組んでいただきたい。（珠洲市長）

2. 消費者ニーズに対応した食品供給システムのあり方

(1) 食の安全や消費者ニーズへの対応について

- ・安全性については、農薬をできるだけ減らす努力をしている。国民は安全なものを安心して食べられることを望んでいる。(筑後市長)
- ・外国に比べて規模が小さいことで、農薬の使用を削減できるなど、安全・安心により付加価値を付けた売り方をすることができる。生産者の顔が見える関係が重要。(南城市長)
- ・安全・安心な農業を行っていることについて、国全体でアピールしてほしい。今は、消費者は安全・安心と言いつつも、実態は値段重視というケースも多い。(南あわじ市長)
- ・絶えず変化する消費者のニーズに対応するため、消費者に近いアドバイザーとの接触が必要。(飯舘村長)

(2) 国産農林産物の利用促進、食育、国民理解について

- ・国内の農産物や木材を使った場合の減税措置を考えられないか。(飯舘村長)
- ・食育の一環として、地域の自給率を勉強する機会があると良い。(南あわじ市長)
- ・農業の持つ多様性、食料自給手段の確保も含め、国民理解が必要。(別海町長、飯舘村長)
- ・企業や流通関係者、消費者とのつながりを作り、農村や農業に関わった企業が得になるような制度をつくるべき。(飯舘村長)
- ・低炭素社会構築に向け、環境に配慮したエコポイント的な誘導策が必要ではないか。(田原市長)

3. 戸別所得補償制度のあり方

- ・畑作物にも対象を広げるにあたり、奨励品種だけでなく、在来種も対象となるような運用をお願いしたい。(珠洲市長)
- ・これからの農業生産を担っていく法人や大規模中核農家を重点的に支援する制度にしてほしい。(筑後市長)

4. 農林水産業の成長産業化のあり方

- ・産業としての競争力は、里山保全や集落維持等社会的な側面とは分けて考える必要。(珠洲市長)
- ・在来種大豆の加工による豆腐づくりや肉用牛のブランド化、もずくを輸出する取組など、商品の差別化等で工夫すれば儲かる。(珠洲市長、南城市長)
- ・農業と商工業のバランスをとった地域づくりが必要。(昭和村長)
- ・観光や製造業等地域の企業との連携は重要だが、継続性が確保される必要。(別海町長、南あわじ市長)

5. その他（TPPについて）

- ・地域は、拠り所となる基盤があって、人々が住み続けられ、国全体の活力につながる。拙速な参加は反対。国益が何かについて、地方と丁寧に議論してほしい。(別海町長)
- ・村の将来ビジョンを根本から覆すほどの大きな影響が出ると考えている。(昭和村長)
- ・多くの農作物が採算が取れず農地が荒廃し、地域の共同体が崩壊する。(吉備中央町長)
- ・反対するだけで日本の農業は発展するのか。抜本的な対策を打っていくことが重要だが、早急な決断はよくない。(飯舘村長)
- ・十分な検討が必要。影響のある品目の具体的データを示した上で、セーフティーネットのあり方や、業種転換を進めるか等国内農業対策の道筋を考える必要。(田原市長、南あわじ市長、筑後市長、南城市長)
- ・国民が、安全安心と価格のどちらを選択するか分からないから難しい。(珠洲市長)